

ネイティブ カナバリア エンシフォルミス (ジャックビーン) α -マンノシダーゼ

Cat. No. NATE-0754

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 α -マンノシダーゼは酸性加水分解酵素で、植物の液胞に存在し、N-結合型糖タンパク質のターノオーバーに関与していると考えられています。 α -マンノシダーゼはBリンパ球の増殖を抑制することが示されています。Canavalia ensiformis由来の α -マンノシダーゼは、各サブユニットが44 kDaと66 kDaの2つの成分を含む2つのサブユニットからなるトリマーです。

用途 合成および天然のさまざまな α -マンノシドからマンノースを解放します。 α -マンノシダーゼは、合成および天然のさまざまな α -マンノシドからマンノースを解放するために使用できます。また、ムコリピドーシスIIの「ノックイン」マウスにおける神経性の原因を調べる研究にも使用されました。

別名 α -マンノシダーゼ; α -D-マンノシダーゼ; p-ニトロフェニル- α -マンノシダーゼ; α -D-マンノピラノシダーゼ; 1,2- α -マンノシダーゼ; 1,2- α -D-マンノシダーゼ; エキソ- α -マンノシダーゼ; EC 3.2.1.24; 9025-42-7; マンノシダーゼ

製品情報

由来 カナバリア・エンシフォルミス (ジャックビーン)

形態 硫酸アンモニウム懸濁液。3.0 M (NH₄)₂SO₄および0.1 mM酢酸亜鉛の懸濁液、pH 7.5

EC番号 EC 3.2.1.24

CAS登録番号 9025-42-7

活性 > 15 ユニット/mg タンパク質 (ビウレット)

単位定義 1ユニットは、25°CでpH 4.5の条件下で、1.0 μ moleのp-ニトロフェニル α -D-マンノシドをp-ニトロフェノールとD-マンノースに加水分解します。

保管・発送情報

保存方法 2-8°C